

週間漁海況情報—第14号

平成27年4月7日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週火曜日夜間に更新します。

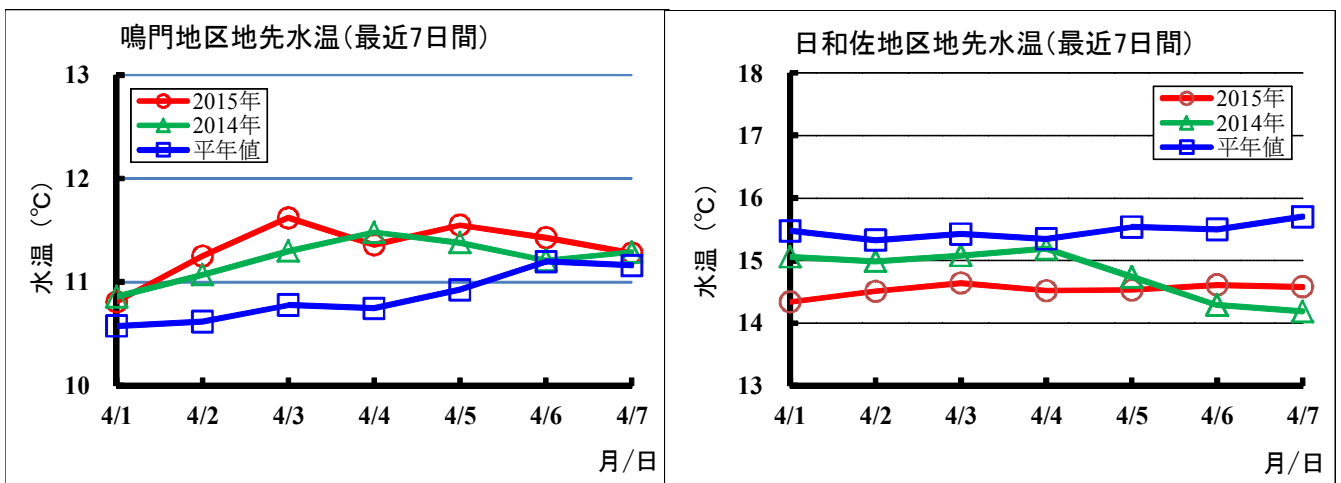
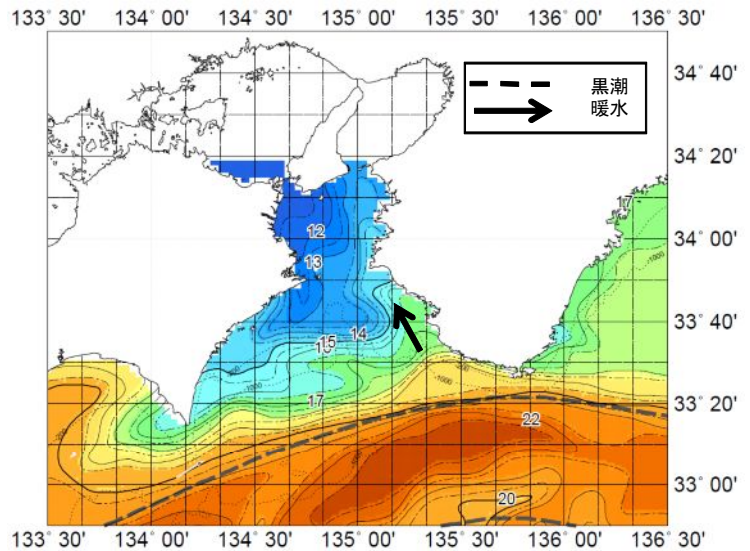
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.4.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸している。

黒潮本流の表面水温は20～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11℃台、紀伊水道では11～14℃台、海部沿岸は12～14℃台である。紀伊水道外域では和歌山県沿岸に暖水流入が見られる。



地先水温: 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の10.8～11.6℃、日和佐地区は「やや低め」の14.3～14.6℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の13.6～14.9℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.3トン（1日1隻あたり14kg）、大主体にカマスサワラが0.9トン（同41kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で特大主体にマアジが0.3トン（同67kg）、小主体にさば類が0.2トン（同48kg）、ハマチが0.4トン（同76kg）、メジロが1.7トン（同336kg）、ブリが18.6トン（同3,714kg）、中主体にマダイが0.2トン（同48kg）、中・大主体にクロダイが0.3トン（同58kg）、大・中主体にイシダイが0.4トン（同74kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にサワラが0.4トン（同20kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でサヨリが0.8トン（同188kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2015年3月30日～2015年4月5日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	18	251	14	大主体
		カマスサワラ	23	947	41	大主体
マアジ		5	334	67	特大主体	
さば類		5	241	48	小主体	
ハマチ		5	379	76		
メジロ		5	1,681	336		
ブリ		5	18,571	3,714		
マダイ		5	238	48	中主体	
クロダイ		5	290	58	中・大主体	
イシダイ		5	370	74	大・中主体	
釣り			サワラ	20	406	20
パッチ網	紀伊水道	サヨリ	4	750	188	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の3月31日～4月6日には、海部沿岸では、延縄で大主体にキダイが0.3トン、大型定置網でハマチが0.2トン、ブリが6.5トン、イシダイが0.3トン、釣りで大主体にタチウオが0.2トン、ハマチが0.6トン、メジロが0.2トン、サワラが0.2トン、紀伊水道では、釣りで特大主体にタチウオが0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の11～12℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。

徳島県周辺海域での長期漁海況予報（2015年4月～7月）：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖では、4月下旬まで接岸、5月以降に小蛇行の東進により一時的に離岸する見込み。

紀伊水道外域の沿岸水温は、「平年並」～「高め」で推移し、小蛇行の東進に伴い変動する見込み。